

議題4 地域包括支援センターの運営に係る国の評価項目に対する 令和7年度評価指標の設定

1. 概要

「『地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について（通知）』の一部改正について（厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課長通知、令和6年6月7日付老認発 0607 第1号）」に基づく地域包括支援センターの運営に係る評価（大牟田市における評価）項目の中で、各評価分野におけるアウトプット指標又は中間アウトカム指標を設定することとされていることから、評価指標を設定するもの。

なお、本評価指標に基づき令和7年度評価を実施し、令和8年度第1回運営協議会における審議を予定。

2. 令和7年度評価指標（案）について 別紙のとおり。

○地域包括支援センターの運営に係る国の評価項目に対する令和7年度評価指標（案）

評価分野	評価指標	(参考)センター指標に掲げる活動目標
「組織・運営体制」に関する指標	【指標名】地域包括支援センター事業実績における各重点目標に対する評価がAの割合 【目標値】100% 【考え方】全包括センターで全ての項目がA評価であること	・市町村の実施方針に従って、地域包括支援センターの機能強化に向けた事業計画を作成し、必要に応じて業務改善を図る ・センターが効果的に運営できるように、組織マネジメントを行う ・センター職員の人材確保及び育成を図る ・市町村が示している個人情報の取扱方針や苦情対応方針に従い、センターにおいて適切に対応する体制を整え実践する
「総合相談支援事業」に関する指標	【指標名】受けた相談のうち終結した相談の割合 【目標値】20% 【考え方】本人や家族等が抱える課題への対応状況を評価（R6年度実績20.8%を基に設定）	・地域包括支援ネットワークを構築する ・市町村と相談事例を共有・分析し、支援に活かす ・家族介護者支援に取り組む ・複合的な課題を持つ世帯の相談に適切に対応する
「権利擁護事業」に関する指標	【指標名】権利擁護に関する市民啓発の実施回数 【目標値】19回 【考え方】各校区1回	・高齢者等の権利擁護のための普及啓発や対応を行う
「包括的・継続的ケアマネジメント支援事業」に関する指標	【指標名】会議や研修等によりエリア内の介護支援専門員支援を実施している包括センター数 【目標値】6か所 【考え方】全包括センターにおいて実施	・担当圏域の居宅介護支援事業所の状況を把握し、地域のケアマネジャーの支援ニーズに基づいた対応を行う ・市町村の方針に則り、介護予防サービス計画の検証を行う
「地域ケア会議」に関する指標	【指標名】地域ケア会議で明らかになった地域課題をまとめた資料を作成している包括センター数 【目標値】6か所 【考え方】全包括センターにおいて実施	・センター主催の個別ケースを検討する地域ケア会議において、多様な視点から個別事例の検討を行い、対応策を講じる ・地域ケア会議において、地域課題を把握し、適切に対応する
「介護予防ケアマネジメント・介護予防支援」に関する指標	【指標名】市内の高齢者人口に占める要支援1・2の新規認定者の割合の前年度比上昇率 【目標値】0.1%以内 【考え方】介護予防等に資する取組を評価（R6上昇率0.07%を基に設定）	・介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を適切に実施する
「包括的支援事業（社会保障充実分）」に関する指標	【指標名】意思決定支援に関する市民啓発の実施回数 【目標値】19回 【考え方】各校区1回	・事業間連携を推進する

※令和7年度第1回地域包括支援センター運営協議会資料

「令和6年度地域包括支援センターの運営に係る評価【国の評価項目】」【資料5-1・5-2】参照